

第16回 CRIIESセミナー

参加費
無料

南海トラフ 巨大地震に備える

～命を守る行動と備え～



開催
日時

2026年
9.25 金
13:00-17:00

開催形式

オンライン開催
(名城大学より配信)



主催

一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部

後援

国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市、
(一社)中部地域づくり協会、(一社)パブリックサービス、
(公社)土木学会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部、
(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、
(公社)日本コンクリート工学会中部支部

我が国では2011年に東日本大震災、2016年に熊本地震、2024年に能登半島地震と、近年、大きな地震が相次いで発生している。また、2024年8月には、気象庁が初の「南海トラフ地震臨時情報」を発表する等、南海トラフ巨大地震の発生がいつ起きてもおかしくない状況となっている。そこで、本セミナーでは、昨年度に続き、南海トラフ巨大地震に対する備えをテーマとする。昨年度はインフラ整備、電力・水道等のライフライン対策に着目したが、今年度は災害時の避難や復旧・復興に着目し、4名の講演者に最新の研究動向や自治体での対策の現状等について講演していただく。その後、南海トラフ巨大地震に向けた課題等に関するディスカッションを行う。

● プログラム

13:00	開 会 司会 武田 健太 (名古屋工業大学助教)
13:00 - 13:05	開 会 挨拶 田辺 忠顕 (社会基盤技術評価支援機構・中部 代表理事)
13:05 - 13:55	講 演 「巨大災害想定に備えて変わるわが国の避難行政」 片田 敏孝 氏 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター特任教授)
14:00 - 14:35	講 演 「想定を超えるハザードとどう向き合うかー不確実性と防災ー」 富田 孝史 氏 (名古屋大学減災連携研究センター 教授)
14:35 - 14:50	(15分休憩)
14:50 - 15:25	講 演 「近年の地震災害におけるライフラインの機能的被害・復旧と今後の課題」 能島 暢呂 氏 (岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授)
15:30 - 16:00	講 演 「犠牲者ゼロをめざす黒潮町の地震・津波対策」 宮川 智明 氏 (高知県黒潮町情報防災課長)
16:00 - 16:15	(15分休憩)
16:15 - 16:55	ディスカッション コーディネーター 鈴木 温 (名城大学理工学部教授、社会基盤技術評価支援機構・中部 理事)
16:55 - 17:00	閉 会 挨拶 内田 裕市 (社会基盤技術評価支援機構・中部 専務理事)



参加申込

機構HPの申込フォームからお申し込みください。 <http://www.criies.jp/>

お問い合わせ

一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部 事務局
(一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部 専務理事 内田裕市)
E-mail uchida.yuichi.g5@f.gifu-u.ac.jp

※なお、本セミナーは、土木学会認定CPD
(継続教育)プログラム(3.2単位)です。

講演者略歴

※講演順



片田 敏孝 氏
TOSHITAKA
KATADA

東京大学大学院情報学環特任教授、群馬大学名誉教授。専門は災害社会学、災害情報学。

豊橋技術科学大学大学院修了後、東海総合研究所、岐阜大学工学部助手、名古屋商科大学専任講師、群馬大学助教授、教授、広域首都圏防災研究センター長を経て現職。

住民の避難行動や主体的な防災行動を促進するためのコミュニケーション・デザインに関する研究に従事し、内閣府防災や防災庁の設置に関する審議会等の委員を歴任。

学会活動では日本災害情報学会会長、日本自然災害学会理事など歴任。土木学会論文賞、日本災害情報学会廣井賞、日本自然災害学会論文賞など受賞。また防災功労者内閣総理大臣表彰、海洋立国日本功労者内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰科学技術賞、気象庁長官表彰など受賞。皇居に招かれ天皇后陛下にご進講を行った。



富田 孝史 氏
TAKAFUMI
TOMITA

名古屋大学減災連携研究センター副センター長、教授。

名古屋大学大学院博士後期課程修了後、同大学工学部助手・講師を経て、運輸省港湾技術研究所（現・国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所）に勤務。長周期波、越波、高潮、津波など沿岸防災に関する研究に従事し、国内外の多数の津波・高潮災害調査を実施した。2016年に名古屋大学大学院環境学研究科教授に着任し、2022年より減災連携研究センター教授。2001年以降、津波・高潮防災に関する研究に一貫して取り組み、現在は沿岸防災に加え、国土デザインに関する教育・研究にも携わっている。



能島 暢呂 氏
NOBUOTO
NOJIMA

岐阜大学工学部教授、ぎふ防災・減災センター長。

専門は地震工学、地震防災。

1993年京都大学博士（工学）を取得後、京都大学防災研究所、広島工業大学を経て、1998年岐阜大学工学部助教授、2006年から現職。土木学会理事、日本自然災害学会評議員、地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会委員、同地震動予測地図高度化WG主査などを務める。地震リスク・ハザード評価、強震動特性の評価、リアルタイム地震防災システム、ライフラインの機能的被害・復旧過程などに関する研究に取り組む。土木学会論文賞、日本自然災害学会学術賞、地域安全学会論文賞、日本地震工学会論文賞などを受賞。



宮川 智明 氏
TOMOAKI
MIYAGAWA

黒潮町役場情報防災課長。平成元年4月1日大方町（現黒潮町）に入庁（企画管理課企画調整室）。平成25年4月から、総務課庁舎建設係長。平成27年4月から、まちづくり課庁舎建設係長。平成30年4月から、情報防災課長補佐兼南海地震対策係長。令和3年4月から、住民課長兼衛生センター長。令和6年4月から、環境政策室長。令和8年4月から現職（情報防災課長）。